



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

合気道 紀宝道場 編

地域での活動は55年、強さと思いやりを身に付ける

合気道紀宝道場

保育園児から80代までの老若男女が通う合気道紀宝道場。武道や礼節、日本人の心を学ぶ場として、護身術や健康法など、身につけた目標は人それぞれ。姿勢を正す・挨拶をする・時間を守るという基本姿勢を通して、合気道紀宝道場の心構えを躰として、次世代へも伝えていきます。

Q1 合気道をはじめたきっかけと魅力は？

A1 (畑さん) 募集チラシを見て、友達もいるからやってみたらとお母さんに薦められました。学校が遠う仲間もできて楽しいです。今は棒術を一生懸命頑張っています。



リーダー(鶴殿小6年生) 畑 一樹さん (はた いつき)



指導者 塚田 みゆきさん

Q2 リーダーとして心がけていることは？

A2 (畑さん) 先生から何かするように言われたときには、率先して行動しています。おかげでなくなりました。



Q3 自身の強みは？

A3 (畑さん) 受身です。いろいろな稽古しますが、飛び受身が得意です。



Q4 今、取り組んでいることは？

A4 (塚田さん) 進級のための稽古があり、普段稽古する姿も審査の対象となりますので、気を抜かずに稽古しています。



Q5 稽古でどんなことを意識していますか？

A5 (畑さん) 棒術がうまくならないです。そのため、手や足の動きに注意するようにしています。



(塚田さん) 始める前に必ずしっかり柔軟体操をしています。受身は怪我をしないために取る行動なのでこれまで怪我はないのですが、冬季は特に入念に体を柔らかくほぐしています。稽古に挑むようにしています。子どもたちの体調などに気を付けながら稽古していますが、うまくできず泣いてしまう子もいるので、励ましたりしています。ただ優しく接するだけでなく、厳しさや躰は子育てでも大事なことです。ここでそれを学んでもらっています。

二次元コードを読み取ると合気道紀宝道場のコメントが見られます。



Q6 合気道を通して学んで欲しいことは？

A6 (塚田さん) 合気道は相手に勝つのではなく、自分に勝つため、自分と向き合い、自分に負けないように稽古することです。それをコツコツ積み重ねることの大切さを知り、強さと思いやりを身に付けてくれたらと思います。また中学になるとクラブが忙しくなり、来なくなる子も多いのですが、高校で復帰したり、大人になっても体は覚えているので、いつでも合気道に戻ってきて欲しいです。一緒に稽古する仲間を増やしていきたいです。



合気道紀宝町クラブ

ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!